

豊明市議会 広聴会 2017 アンケート集計表

3会場の合計	回答者総数 38名
--------	-----------

2 性別

男性	女性	無回答
30	5	3

南部公民館	10名
商工会館	14名
文化会館	14名
傍聴	3名

3 年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答
0	0	1	0	5	9	20	3	0

4 お住まいは
豊明市内

沓掛町	三崎町	新田町	阿野町	二村台	間米町	桜ヶ丘区	前後町
7	5	7	2	3	1	1	3
栄町	新栄町	不明					
6	3	0					

11 議員定数をどうすると良いと思いますか？

増やす	現状維持	減らす	わからない	無回答
1	10	12	11	4

増やす・減らすとお答えの方、具体的な人数もお考えであればお答えください

15人	16人	17人	18人	21人	17～18	15～18	無回答
3	2	1	3	1	1	1	26

12 議員報酬をどうすると良いと思いますか？

増やす	現状維持	減らす	わからない	無回答
3	14	4	13	4

増やす・減らすとお答えの方、具体的な金額もお考えであればお答えください

南部公民館

50万円(1)	無記入(9)
---------	--------

商工会館

無記入(14)

文化会館

30万円(1)	25万円(1)	3～5万円減(1)	無記入(11)
---------	---------	-----------	---------

13 議員定数、議員報酬について、専門家による講演会を開催してはどうか、という意見があります。どのように思われますか？

開催した方が良い	開催しなくても良い	どちらでも良い	無回答
12	9	12	5

14 開催した場合、参加してみたいですか？

参加したい	参加したくない	わからない	無回答
20	1	11	6

15 開催する場合、どの程度予算をかけて良いと思いますか？

10万程度	30万程度	50万程度	わからない	無回答
6	4	1	20	7

※ 参考

3会場総数	42名	他市町議員傍聴総数	4名	合計	46名
南部公民館	10名	0名		10名	
商工会館	17名	1名		18名	
文化会館	15名	3名		18名	

豊明市議会 広聴会 2017

議員定数・報酬に関する アンケート（自由意見）集計結果

※極力原文に近い状態で掲載しています

1 議員定数をどうすると良いと思いますか？

そのようにお考えになる理由をお聞かせ下さい。

【定数を増やす意見】

- ・ 3委員会を前提に21名。
- ・ 個人的な考えですが、常任委員会は7名ずつ必要と考えます。【参考意見】

【現状維持の意見】

- ・ 長久手市の例が明示されているが、人員数によらず、議員の質、活動力によるものと思われる。
- ・ 将来人口が減少する。

【定数を減らす意見】

- ・ 財政負担の軽減、議員の質。
- ・ 人口の多い大府市でも19名。他府県の状況も知りたい。
- ・ 人口に対比して。
- ・ 議員を増員すれば、予算は減少し税金が高くなる。市民負担が多くなる。
- ・ 現在の任期中は良いとしても、次回は絶対に減らすように（15人）にしてほしい。
- ・ 委員会の進め方、内容、議員の発言を見ると真剣に考えている議員が少ないように感じられるため。
- ・ 仕事が見えない議員が多い。そんな議員は必要ない。
- ・ 現状で働いていない議員は見受けられる。（15人）
- ・ 現状WORKを維持するだけなら半数でこなせるのでは？
- ・ さすがに20人は多いと思う。

【わからない人の意見】

- ・議員個人の活動状況による。
- ・議員の発言がすべて行政にいきているとは思わない。
- ・比較判断材料が周辺の都市との数値だけなので・・・
- ・議員の資質により判断したい。
- ・各自治体によって違うので難しい。【参考意見】

【その他の意見】

- ・平均的なことはわかった。
- ・人数の問題とは思わない。質の問題。

2 議員報酬をどうすると良いと思いますか？

そのようにお考えになる理由をお聞かせ下さい。

【増やす意見】

- ・質の良い議員団体にするにはそれなりの報酬にする必要ありと思う。
- ・責任意識の向上。

【現状維持の意見】

- ・スケールがないため、現状平均以上に言えない。
- ・できれば増やしても良い必須条件は定数減。議員になりたい人を増やすため。
- ・政務調査費について他市を含め掲示してほしかった。
- ・定数減になれば、報酬を増やしても良い。メリット・デメリットはありますが、一度大きく減らしてみなさい。
- ・要は報酬によって左右されるような議員ではないと思っている。そうであってほしい。

【減らす意見】

- 議員報酬を減らす。職員の給料を減らす。全体のバランスをとる。福祉の後退はだめ。
- 一般の社会（企業賃金）から見ても、総額を見直していただきたい。
- お金がない。
- 報酬は給料ではなく生活費でもないので減らすべき。
- 議員活動の熱意、やる気による。

【わからない】

- 平均的なことはわかった。
- 客観性をどのように持たせるのか、増えても減っても、市民が納得できる理由が必要であると考えます。【参考意見】

3 議員定数・議員報酬について、専門家による講演会を開催してはどうか、という意見があります。どのように思われますか？

そのようにお考えになる理由をお聞かせ下さい。

【開催に賛成する意見】

- 他市町の現状がわかる。基本的な考え方を知るうえで参考になる。
- 手前みその結論にならないため。
- 市民にお手盛り感をもたれないように。
- それぞれの地域性もあると思いますが、専門家の意見を聞くべきだと思います。
- 議員の質の向上を目指す勉強のためなら開催も可と思う。
- 客観的にはどうなのか一つの見方の参考になる。報酬審のご意見も重要ですが現在は議員のあり方も難しい。いろいろな考え方を聞くのは大変必要かと思えます。【参考意見】
- 専門家に解説してもらい、勉強するのも良いと思う。【参考意見】

【開催しなくて良い意見】

- ・議員として自らの考えを明確にすべき。
(メリット・デメリットを出しただけでは自らの考えがないと思う。)
- ・市独自の考えで進めてよい。
- ・専門家なんて存在するのかな。
- ・議会と市民で考えるしかないと思う。
- ・専門家の考えもいろいろなので増やすことに賛成の講師を呼ぶのであればその方向の話になってしまう。【参考意見】

【どちらでもよい意見】

- ・議員の方々の活動を評価するのは自分自身だと思うので。

【その他の意見】

- ・市民の理解。
- ・専門家の言うことは本当か？
- ・幅の広い視点に接触できる。
- ・一般の市民は貧困で生活に苦しんでいる。議員は仕事も少なく給料報酬は高すぎる。

4 その他

- ・専門家の講演会を開催する場合の予算は聞くべきことではないと思います。限られた予算の中で、妥当な額は決まってくると思います。高額な講師を呼びたいときは政務活動費から出し合うこともあるのでは。【参考意見】

豊明市議会 広聴会 2017

各会場の議員定数・報酬についての意見・質問など

※極力原文に近い状態で掲載しています

南部公民館 会議室

・他の市との対比で議員一人当たりの人口が一番多い大府市ではこの状態をどう思っているかの調査をしていますか。豊明市議会の各議員がどう認識しているかの調査はありますか？

・議員定数は減らして報酬をあげるべき。熱心な議員と予算委員会などもほとんど取り組んでいない議員がいる。よい質の議員を高い報酬で雇うべき。定数を15名にすると公明党、共産党が合わせて3人当選させているので12議席ということになる。少数精鋭で。

・資質の問題、自分の理念があるはず。市の現状を把握して自分はこう取り組んだことを示す必要がある。1年生議員と5期生は違うだろうから、勉強していただいて自分の理念をもとにして豊明をどうしてゆくか真剣に考えていただきたい。

そのためには定数も然りでしょうけれど、ある程度の報酬が必要だと思う。それなりに活動するとお金もいるでしょうから。ゼロではできない。個人の議員が今までの豊明ではいけないと、他の自治体の調査をしてもらって、相当取り組まないといいものを豊明に持ってこられないから、そういうことができるのは議員しかいない。働いているものはできない。議員個人の理念が必要。

・2年前に市民代表を務めていた。いまの市会議員の誕生の元を作ったつもり。現状では是非は決めかねている。今の議員はよくやっている。前回より質も内容もよくなっている。もうあと1年がんばっていただければ。

・報酬はあげてもいいと思うし、議員にお願いしたいのは市がやっていることの追及だけでなく提案が必要ではないか。勉強会などを作ってほしい。地域で申し合わせのように次にお前が出るというような方法はよくないのでは。40年住んでいるが、いまだによそ者と言われる。

・庶民の立場からするとまだまだ高いなと思うが、一所懸命頑張っているのだから良いのではないかと。専門のことを務めているからよいのではとも思う。現状維持。

・人数の問題ではなく質の問題。中身のいい人ならそれでよい。20人ということでもなくとも。以前のように定数削減の話題が出なくなった。オンブズマンの資料などもあまり見なくなった。議員が定数について議論するのは自分の首をしめることになりかねない。ここにある資料のメリット、デメリットは当然のことで、これでは考え方が絞りこめない。例えば給料は総額を固定すると定数と報酬の関係が見えてくると思う。給料を高くして人数は少なくするというのもいいのではないかと。兼業だと安くてもよい、が専業だと困る。

・豊明市に住んで20年。議会開催ごとに傍聴を1回はしていた。以前はこれで議員かという人がいたが、最近は少しよくなった。質問はだいたいの方がするようになったし、まだ全員ではないが。それなりの人が議員報告書も出すし、議員全員に出してほしいけれども。少しよくなったが、まだまだ先は遠いなど。

今回の広聴会はみんなの意見を聞いたのはよかったというのと、もう少し議員個人の力が出るような報告会というのが望ましい。この前の報告会というのは議会ですっと居眠りしていても、当日だけ目があいてればなんとか義務が果たせる。グループの代表者が発表するし、自分が代表者にあたって1時間勉強すればあの程度の発表はできる。だから何もしなくても義務を果たすことができた。議員個人のことわかるレベルで開催してもらってもっと良い。質が先か数が先かは、にわとりと卵の論争でどうしようもない。質を上げるのは議員一人一人の努力にかかってくる。

自民党が都議会で惨敗して議員に各選挙区に帰って、しっかりやれと大号令が出たそう。皆さんは政党を背負っているわけではない。クラブはあるけども。選挙区に帰ってということがあるのかわからないけれど、選挙区に帰って報告することが大事。広聴会もそうだし、議会報告会もそうだし、議会報告書もそう。自分がやってきたことの報告を出さないと。議員の資格がないと思う。もうひとがんばりしてもらいたい。

定数を減らすことに賛成。減らすとよくなっている。報酬はもっと出してもよい。ボランティアでできますか。年金をもらっているような人ばかりになる。新進気鋭の人はなれない。それなりの給料がないと。安ければよいという問題ではない。市長も議員も。それなりのものをもらって当然。要求してもらいたい。そのかわり成果は示してもらいたい。

【Aグループ】

・当局から年間何本くらいの議案（事業計画）が出てくるのか。その出てきた案をチェックするのが役目？議案がどれくらいあるのかわからない、仕事の量がわからないので高いか安いのかといわれてもわからない。資料や計算式では給料は安いのではないか？昭和47年から比較すると安いのではないか？

単純に増やすのはどうかと思う。30代・40代の若い人の立候補を進めた方が良い。増やしても良いと思う。

・豊明市の目標は？たとえば、桶狭間古戦場は名古屋のほうが主になっているように見える。委員会でしっかりやらしてもらわないかん。市の行事としてもっとお金をかけていいので盛大に。

沓掛城址跡に木造で城を作ったら良いのではないか。桶狭間から沓掛城址跡へ行列、鎌倉街道もきれいに整備した方が良い。

・私たち庶民にとって活動の中身がわからない。議員先生に近づくのも難しい。経過も中身も具体性が見えない

比較するところが見えない。子育て真っ最中の方では安い。議員みんなが一生懸命やってくれたださる。一方で全員がそうでもないという声も聞こえてくる。改革していく。何をどう改革して次のステージにいき、豊明をどう魅力的なまちにしていくのか具体的に伝わってこない。

『隣の芝生はよく見える』刈谷市とかは公園もいっぱいある。大府市は医療にも手厚く充実している。豊明と東郷は文化の砂漠と言われている。ホール（文化会館）ができたころには周辺市町はもっと上を目指して進んでいる。火葬場もないのでこんな手続きもしなくてはならない。

豊明の魅力はどこにあるのか、議員の活動が具体的に魅力ある豊明市に結びついていくと守られていると感じる。小学生のころから総合的な学習の時間に豊明市をどうしていくのかを考えてもらい、家に帰って父母と相談する。そうすると10年20年後の豊明が見えてくる。そういう教育を小学校のうちからやると良いと思う。

・報酬の資料の中に豊明市の歳入の中に報酬の占める割合があるとよかった。

・桜ヶ丘沓掛線、請負が7億円で13億円になっている、委員会の中できちんと結論が出ているのか。審議がきちんとされているか。設計上材料はこれを使うことになっている。業者側はそれではいかん、これを使わないとちゃんとしたものがない。といわれ業者のいいなりになっているのではないか。チェックはちゃんも行われているか。当初の設計が正しいのかどうか見る目がないとだめだ。そういうことを考えると議員の数は増やしたほうが良いと思う。給料もやすいと違う。40万5000円じゃ安い。

【Bグループ】

議員定数についての意見

- メリット、デメリットの参考資料は、議員目線か、市民目線なのか、誰にとっての資料なのか意見が混在している。削減すると委員会構成が出来ないなど、議員目線の資料などは参考にならない。
- 定数うんぬんより、議員の資質の問題。議員は無報酬で名誉職にして、夜間開催など30名にすべき。会派・党派を組まない方が良い。
- 仕事をしない議員はいらない、一人の議員が二つの委員会を掛け持ちすれば良い。(議員の報酬削減運動を聞いたことがない。)
- 感覚的に半分の議員で良い。
- 委員会の人数構成維持が大変なら、委員会を改正すれば良い。
- 現状維持で良い、27区あるので各区1名の議員、市区の中での小選挙区制が良い。
- 最大30名の議員から、現在20名の議員になって、現状は市民の多様性、少数意見が反映されていないのか、当選回数至上主義を是正すべき。

議員報酬についての意見

- 妥当だと思うが、実績がわからず、議員もPDCAサイクル、成果主義で仕事を公開すべき。(議員も自分の仕事を積極的にアピール。)
- 議員も目標を設定(マニフェストを掲げる)して評価制度を策定。
- 少なければ議員活動に支障が出るのなら報酬を上げれば良いが、報酬に応じた仕事をして欲しい。
- 現状維持、もしくは議員報酬アップした方が良い。(ただし議員定数を削減した分)、一定の報酬がある人が集まる議会は良くないと思う。
- 資料を見る限り、高くもなければ安くもない。市民の意見をしっかり吸い上げて、行政を監視して欲しい。(評価する物差しがない。)
- 予算が許せば、報酬アップもかまわないが、議員は何もしないというイメージが強い。

・他人の収入に口をはさむこと自体がおかしい。多いか少ないかわからない。政務活動費も報酬とワンセットにして資料提出を望む。
(自分たちで行く視察は実費負担すべき。)

・現状維持、議員はサラリーマンのように社会保障制度（年金・保険）がない。
(冠婚葬祭、付き合いの経費がいくらかかるかわからないので。)

文化会館 会議室

・報酬の金額より議員の質、活動への熱意が重要。

・議会で取り上げて検討してもらいたいのは、選挙のときに、文化会館に候補者全員そろって一人5分ずつ何をやりたいのか話してほしい。次回の選挙からそうやってほしい。

・市の財政状況は、どう変わっていくのか。憩いの家をなくしていこうとしている。福祉への予算を削っている。議員が報酬を下げれば職員給与も下げられる。市の財政状況がどうなっているのかわからない。

・議員は高齢者が多い。若い議員さんが出てほしい。報酬が高すぎる。奉仕の心が必要。議員がサラリーマン化している。多選を禁止にする必要がある。

・私は、全く反対で、報酬が安すぎる。兼業でないとできない。議員の質が下がる。良い人に出てもらうには金が必要。800万ぐらいにはしないといけない。

・議員は働く日数少ない。議員と比べ、市民の給与水準は高くない。

・お金のためにやるわけじゃない。一般より働く日数が少ない。

・アンケートをとるのは議員が市民に意見を聞きたいからなのか？

・イギリスでは議員はボランティア。本業を持っていて、夜に議員活動をする。一方、生活給という考えもある。

・3年前に議員定数を増やせという陳情を出した。報酬ぐらい難しいものはない。議員数を出す数式をつくった学者もいる。報酬も算出方法あるのではないか？
あれば、それを活用しては？

・政務活動費など報酬以外のものがあるのか？